令和８年度　ふるさと未来講座「自然科学」福井①

福井で発掘！獣脚類の仲間たち

日　時:9月12日(土)10:00～11:30

講　師:福井県立大学　准教授、福井県立恐竜博物館　研究員

　　服部　創紀　氏

会場:福井県生活学習館(ユー・アイ ふくい)　映像ホール





　福井では、フクイベナートルとティラノミムス、そしてフクイラプトルの3種が新種の獣脚類として登録されています。また、名前がまだついていない、スピノサウルス科の恐竜も発掘されています。これらの獣脚類は、歯や恥骨の形状など様々な骨の特徴を基に、さらに細かく分類されているということを、服部先生が多くの画像資料を示しながら説明してくださいました。また、フクイラプトルなどの研究が進むことは、それぞれの系統に属する恐竜がどのように進化していったのかを知るうえで重要であるという、「福井の恐竜研究の意義」についてもお話しくださいました。

　講座の後半は、質疑応答の時間でした。復元図の色はどのように設定しているのか、現代の鳥類はなぜ鳥盤類ではなく獣脚類から進化したと言えるのかなど、講座内容を踏まえて、より詳しく知りたいことを、服部先生に熱心に尋ねていらっしゃいました。

　受講後のアンケートには、「恐竜について、もう少し学びたいという気持ちになった」「分かりやすく、優しく、専門的な事を学べた。」「次に見に行った時に、教えてもらった事を思い出しながら、目で見てみたい。」などの感想が寄せられました。